

どろえのぐ 実践報告書

開催概要

- 日 時：2024年8月22日
- 場 所：お茶の水女子大学いずみナーサリー
- イベント名：普段の保育
- 対 象：1歳～2歳
- 使用素材：大分の泥・いずみナーサリーの土・先生が採取した土
- 講 師：宮里耕太

活動の流れ

- デッキスペースで準備をし始めると、興味を持った子ども達が集まってくる
- 水を加え“どろ絵の具”にし、手や筆で自由に描画
- 大きな紙や壁を使い、ダイナミックに表現
- 描いた作品を吊るす・並べるなどして展示

子どもの様子

- 容器に入れて混ぜる工程に熱中する姿が多く見られた
- 壁や床に大きく広がるように描くなど、全身で表現していた
- 土の種類によって色が変わることに興味を示し、交互に使う姿もあった

気づき・学び

- 施設の敷地の土を取り入れることで「身近さ」が増し、安心感につながった
- 異なる土を比べることで、色や感触の多様性に自然に気づいていた
- 泥遊びと絵画活動の両方の要素があり、表現と探究が同時に育まれていた







資料作成：宮里耕太
以上